

九州 SLA 協会 25 周年記念意見交換会議事録(案)

1. 開催日時 令和5年3月18日(土)10:00~11:2023年3月19日
2. 会場 BasisPoint(貸会議室 ベイシスポイント) 福岡市中央区天神2-8-22
3. 参加者(敬称略・入会期順)
上田彰二、酒井淑子、高本崇子、藤島晶子、金尾正城、久富シゲ
松尾順子、山田三代子、矢野文夫、宮崎さゆり、安部多規子、
阪下貴美子、豊島静江、阿部友子、山崎正弘、福与克己 (16名)
4. 議事進行・記録 金尾正城(進行)、福与克己(記録)
5. 議題(意見交換)

会長挨拶要旨

協会発足 25 周年を迎えめでたいことであり、本日は共に祝い、5 年後を目指した我が協会はどうあるべきかについて、忌憚ない意見交換をして5月の通常総会で方向づけをしたい。発言要旨は以下の通り。(発言者名は省略)

① 協会の体制(役員改選他)と今後について

新会員の入会がないがどのような手を打っているのか

- ・財団の養成講座がなくなり、新会員募集は各協会の活動に拠るしかない。
独自に養成講座をとの意見もあるが費用対効果を考えると簡単ではない。
- ・HP や会員募集のチラシを準備したが効果はない。
- ・有料の新聞広告や、電話相談で協力的な新聞社に広報依頼する案もある。
- ・新会員の募集もあるが数名の会員増よりも次期役員をどうするか、特に次期会長をどうするかが重要ではないか。

次期会長の選出について

- ・具体的に数名の方の名前が挙げたが、それぞれ地域や他団体での役目を理由に困難との発言。会長は難しいが事務局としては協力できるとの前向きな意向も示された。
- ・現3役は80歳代であり、これからの2年間は頑張れるとしてもその後の体制は70歳代以下の若手の女性陣から名乗りされないか。
女性だけで集まって意見交換できないかと提案されたが議論は進まなかった。
- ・結論 本日の意見を参考に4月運営会議で成案を討議して5月総会に諮る。

② 電話相談会の継続

- ・会長が頑張られる間は電話相談担当も頑張る。相談員応募にご協力をお願いする。

③ 会費徴収の要否

- ・阪下会計から会費 5,000 円の 1,000 円に引き下げと特別会計活用案が提示された。

提示の背景は1月運営会議後に、会費ゼロと温存されている特別会計の活用が話題になり
会員安否確認のため1,000円会費徴収+特別会計活用の試算が示された。この結果では
4年度末特別会計残高 210 万円で7年間は九州協会の維持可能

- ・会費3千円でもとの意見もあったが、本件も運営会議で協議して5月総会諮ることになった。

④ 万年青発行及びホームページの存続

特に意見はなかった。

以上